

## 2023 年度事業計画書

世界経済に大きな影響を与えた新型コロナウイルスの感染拡大から 3 年以上が経過し、ようやく様々な規制が緩和され、経済も正常化へ歩み始めていますが、一方で昨年 2 月に始まったロシアのウクライナ侵攻終息への道筋は未だ不透明です。このような状況の下、鉄スクラップ業界の先行きも予断を許さない状況が続いています。

2023 年度もチャレンジ精神を忘れずに様々な課題に取り組んでいきますが、昨年度に掲げた以下の 4 つの取り組みの方向性を堅持しつつ、具体的な課題への対応を着実に実行していきたいと考えます。

- I. 全国 7 支部 8 委員会を通じて会員企業の現状と抱えている課題の把握
- II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施
- III. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や関連団体との議論・協議
- IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度向上に向けた各種情報発信

2023 年度も一人でも多くの会員の方に工業会活動に参加していただき、実りある活動を展開していきたいと考えますので、ご協力を宜しくお願いいたします。

### I. 会員企業の現状と抱えている課題の把握

#### (1)「委員会、支部、部会の各種活動の活性化と連携強化」

当工業会が直面する諸課題についてタイムリーに把握・集約し、会員の意見等を十分に踏まえた的確な対応を図るために、運営委員会の開催頻度を年 4 回程度に増やすとともに会員各社とのコミュニケーションの強化を図り、課題解決に向けて迅速な対応を目指します。

加えて、支部・部会においても、独自の講演会・勉強会・研修会の開催や、個別ニーズに応じた独自組織の運営等を行うほか、定例・臨時の会合の活発化や、本部・委員会との連携強化を図ります。 【本部他】

## II. 課題解決に向けた方策の検討と対応策の実施

### (1)「会員各社への CO<sub>2</sub> 削減施策の提案及び定例講演会の開催」

産業界全体で 2050 年カーボンニュートラルに向けての動きが本格化する中、鉄リサイクル業においても脱炭素に向けて取り組む必要性が高まっております。

こうした中、2022 年度は(一財)省エネルギーセンターに依頼し、環境委員会委員 3 社の「省エネ最適化診断」を実施しました。2023 年度は、当該診断結果も参考に、当業界に共通する省エネや再エネ施策の検討を行うことを計画しております。最終的には、簡易的な CO<sub>2</sub> 排出量の算出方法や会員各社が取り組める具体的な CO<sub>2</sub> 削減施策等を盛り込んだガイドブックを製作・配布し、会員各社に周知することといたします。

更に、有識者を講師として招き、資源リサイクル・地球環境保全分野における法令や制度の改正、新たな施策及び内外情勢等に関する定例講演会を開催します。

【環境委員会】

### (2)「高度な自動車リサイクルの実施:マテリアルリサイクルの促進」

自動車リサイクル法に関し、自動車リサイクルの中枢を担う業界の立場から、合理的・効率的なリサイクルが実施され、「3R の推進」及び「リサイクルの質の向上」を達成できるよう、関係各機関と協議します。特に、現在進行している資源回収インセンティブ制度に関し、積極的に提言します。

【自動車リサイクル法委員会】

### (3)「鉄スクラップの品質向上等に向けた取り組み」

ダストや非鉄混入等の製鋼用スクラップの品質問題に関する各支部での取り組みや、リチウムイオン電池等に起因した火災事故防止策等に関して、意見交換や情報共有を進めるとともに、日本産鉄スクラップの国際競争力強化等についても議論を行っていきます。

加えて、鉄スクラップの品質向上等に向けた取り組みの重要性に鑑み、新たな技術開発に対する補助金等の公的支援が実現するよう、経済産業省等の関係機関に対し働きかけを行うこととします。

【本部他】

### (4)「労働安全衛生の強化、徹底に向けた取り組み」

高齢者や経験年数の浅い従事者による事故が依然として減少しないことから、安全水準の向上に向けた取り組みとして、設備機械や重機等の操

作上の課題を中心にした労働安全衛生講習の動画配信や、作業現場等で身近に潜む危険を実際に肌で感じ、職場での安全意識を高めるための「危険体験学習会」の開催を計画し、労働災害撲滅に向けた活動を継続します。

また、業界固有の労働災害事例調査を引き続き実施し、その傾向や要因の分析に取り組むとともに、会員各社が労働安全活動の一助として活用できるよう、情報共有を図ります。

更に、会員の労働安全衛生活動の支援策として、安全ポスターの制作・配布、中央労働災害防止協会等で行われる労働安全事業についての情報提供を継続します。加えて、普通鋼電炉工業会の協力を得て、過積載防止ポスターを引き続き制作し、会員各社への啓発と注意喚起に努めます。

また、5年毎に改訂を行っている「鉄リサイクル事業のマニュアルブック(2023年版)」、「労働安全衛生ハンドブック」、「労働安全衛生対策マニュアル」、「鉄スクラップ加工処理業におけるモデル労働安全衛生規程及び解説」等の制作・発行を行い、会員各社の労働安全衛生対策に活用頂くこととします。

災害共済会保険（施設賠償責任保険及び労働災害総合保険等）については、その内容を検討し会員各社に紹介します。 【業務対策委員会】

#### **(5)「港湾整備等の促進に向けた取組み」**

東南アジア、更にそれ以西に向けた鉄スクラップの船積み増加に伴い、輸出船の大型化が求められてきました。国土交通省主管「リサイクルポート推進協議会」内設置の「国際資源循環部会」では、石狩湾新港を中心とした港湾整備を提言してきましたが、2021年3月に同港の拡張計画が承認されました（2026年に新規開港予定）。世界的なカーボンニュートラルの流れにより、鉄スクラップの需要は増加、人口減・ドライバー不足問題も顕著化してきており、港を利用した荷役が更に注目されてきています。港の有効活用について議論・進言をしていきます。 【港湾委員会】

#### **(6)「国内外の鉄スクラップの流通に係る課題解決に向けた取組み」**

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集し、会員に発信することで工業会の活動を支援します。国内流通にかかわる諸課題（鉄スクラップの品質向上等）を取り上げ、業界がより良い方向に向かうべく支援します。 【商社流通委員会】

### **(7)「適正なヤード運営の推進にむけた関係機関等への働きかけ」**

適正なヤード運営の推進に向け、各支部・部会を通じてその実態把握に努めます。また、当工業会を管掌する経済産業省 製造産業局 金属課に協力を要請し、各種法令を所管する自治体・警察庁・消防庁・国土交通省・法務省等の関係省庁・諸機関に対し、適正なヤード運営の推進に向け法令遵守の指導や違反の取締りを強化していただくよう、働きかけを行います。

加えて、工業会に「適正ヤード推進委員会(仮称)」を特別委員会として時限的に設置する方向で検討を進め、工業会内外の効果的な対策につき検討を行うことといたします。 【本部他】

### **(8)「人材確保等、雇用の多様化に向けた取り組み」**

①鉄スクラップ業における人手不足の中、若手を含めた人材確保に努めるとともに高齢者雇用の促進を図る等、雇用の多様化に目を向けた活動を行います。 【本部他】

②次世代を担う若手の人材育成を目的とし知見を広げる活動「新発見セミナー21」を引き続き推進して参ります。2023年度は、対面による開催のみならず、2022年度に好評いただいたLive配信によるウェビナー開催も視野に入れて企画を検討します。 【広報委員会】

### **(9)「鉄スクラップの需給関連データの収集、分析」**

資源・環境を巡る内外情勢を迅速かつ的確に捉えるため、調査分析、情報収集に努めます。このうち鉄スクラップ需給の関係では、市場調査を主要事業とする(一社)日本鉄源協会と緊密な連携・協力を図ることとします。 【本部他】

## **Ⅲ. 鉄スクラップの国内循環促進についての行政や関連団体との議論・協議**

### **(1)「内外の関係機関、鉄鋼関連団体との意見交換の推進」**

鉄スクラップ業のカーボンニュートラルに向けた今後の対応策や違法ヤード事業者の法令遵守等に関し、経済産業省金属課や普通鋼電炉工業会との意見交換に加え、日本鉄鋼連盟等、他の鉄鋼業界関連団体とも意見交換が可能となるよう働きかけを行うこととします。 【本部他】

## **(2)「製鉄メーカーとの連携強化の推進」**

製鉄メーカーとの連携強化を図るためにもメーカーの賛助会員化を働きかけることといたします。【本部他】

## **(3)「国際交流を通じた日本の鉄リサイクル業のプレゼンス向上」**

海外関係団体との相互交流を深め、また国際会議等の場で日本の優れた鉄リサイクルシステムや技術を引続き発信していくことにより、日本の鉄リサイクル業のプレゼンスの向上を図ります。アジアを中心として、広く欧米も含めた鉄スクラップのリサイクルネットワークの形成を目指します。

【国際ネットワーク委員会】

# **IV. 鉄リサイクル業の社会的認知度向上に向けた各種情報発信**

## **(1)「内外に向けた情報発信の強化」**

工業会の本部、各支部、各委員会が実施する各種事業活動等に関し、適宜、会長記者会見の開催を検討するなど内外に向けた発信の強化を図り、工業会活動の積極的なPRに努めます。

【広報委員会・本部】

## **(2)「CO<sub>2</sub>削減効果のPR、工業会ホームページの更なる充実化等に向けた取り組み」**

工業会ホームページについては、有益な情報、タイムリーな情報を掲載し更なる充実化に努め、会員内外を問わず多くの方々に閲覧していただける制作を行います。

特に2022年度より広報委員会と環境委員会が共同で進めてきた「鉄リサイクルによるCO<sub>2</sub>削減効果」のPR、対外発信に積極的に取り組みます。具体的には動画やポスターデザイン等の各種PRツールをホームページに公開するとともに、その他の広報媒体や情報発信ツールの導入による効果的なPRを検討いたします。また、ホームページ更新情報や工業会本部発の情報を会員へ発信するメールシステムの導入を検討します。

【広報委員会・本部】

## **(3)「機関誌の更なる充実化に向けた取り組み」**

工業会の活動報告、業界事業の紹介や各地のトピックス等を掲載する機関誌『鉄リサイクルニュース』を発行します。掲載記事については広く投稿を呼び掛け、紙面の充実化を図ります。【広報委員会・本部】

以 上